

「しんぶん赤旗」読者だより

大阪府田尻町議 小川雄司



田尻町支部党活動募金 1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜午後
12日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要
465-9939

9月の弁護士相談は
12日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要
(部内資料)

原町政の独断・強引な姿勢を批判 小川・吉開 共産党議員団

4日行った小川議員の一般質問の報告

再緑化を求める

担当課長は「根上りしていた桜を撤去し、人にやさしい道への選択を優先させたため、再緑化はしない」と答弁しました。
小川議員は、「桜の保全と歩道の改修の両立を求めた、歩道幅は整備基準にもとづくもの、再緑化できないのは、桜の根を撤去せず埋め戻したので、再緑化できないのが実情では？」と批判しました。

第4次田尻町総合計画より
「道路などの公共施設の緑化を計画的に推進するとともに、住民、関係機関・各種団体、行政等が一体となった全町的な緑化運動、花づくり運動の展開に努めます。」



町道嘉祥寺りんくうポート北線



町道新家田尻線の線路から府道泉佐野泉南線までの緑化、

町道新家田尻線に植樹を



踏み切り

植樹場所

担当課長は「慎重におこないたい」などと答弁しました。
小川議員は「道路整備からずいぶん経過しており、住民の意向をふまえて行うという点では、慎重におこなうという答弁はおおむね了解する」と述べました。

総合体育館建設ではなく、既存施設の活用を

(府の分譲地を購入して建設)

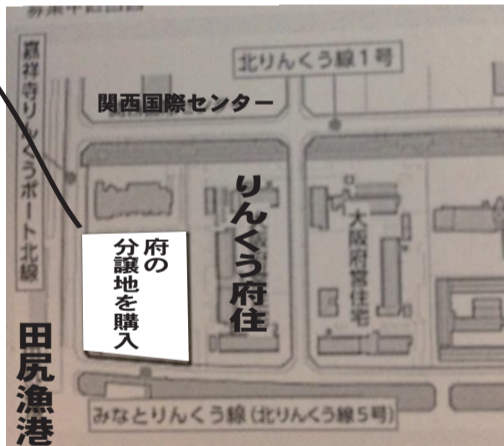
2階 アトリエ



ふれ愛センター内の未活用施設の有効活用を

吉開議員は「3歳児幼稚園保育の復活をかける原町長は、子育て施設の拡充こそ行うべきだ」と批判しました。左記の写真は、ふれ愛センター内で未活用のアトリエと展示スペース。

アトリエ横の展示場スペース



体育館の機能イメージ

- 1階 アリーナ
バスケットコート2面
バレーボールコート3面
トレーニングルームなど
- 2階 ランニングコース
フィットネススタジオ
多目的ルーム(卓球)など

総合体育館の建設・運営経費

府から土地購入 約3億円
体育館総建設費 10数億円
1年間の水光熱費 約2000万円

総計に「総合体育館建設の課題はない」と指摘

平成22年に町民アンケートをもとに、学識経験者、住民代表も加わり、審議会を開いて、町自らが平成31年までの街づくりの計画を定めた「第4次田尻町総合計画」では、「体育施設等の計画的な維持管理を図るとともに、学校体育施設の開放も含め、施設の有効活用に努めます」とあり、総合体育館建設の課題はなく、小中学校の体育館、多目的ドーム・グラウンドの活用がはかられてきました。それでも原町長は、「総合体育館建設は総合計画に適切している」と強弁。私は「嘆かわしい」と批判しました。

原町政は、4日本会議終了後、総合体育館建設を中心とした「スマートウェルネス」構想をすすめるため、10月から庁内で担当組織を立ちあげ、来年度予算で総合体育館を建てるため府の分譲地を購入し、4年後の平成31年には完成させるスケジュール案をしめし、強引にすすめる姿勢をみせています。11日開かれた決算特別委員会で、原町政をたたきました。